



WYROWSKI  
**VirtualLab FUSION**  
FAST PHYSICAL OPTICS SOFTWARE

## 光学エタロンのノンシーケンシャル モデリング

最近リリースされたノンシーケンシャル拡張機能があれば、VirtualLab でシーケンシャル法とノンシーケンシャル法の両方、光線追跡と電磁場追跡の両方の柔軟なモデリングが可能です。チャンネルコンセプトのおかげで、与えられた光学系でシーケンシャルモードとノンシーケンシャルモードを容易に切り替えることができます。

これを示すために、光学エタロンの例を紹介します。エタロンのシンプルな構造は共振器を形成しており、多重反射による干渉がその光学応答と機能性を左右します。

### 平面と曲面を有するエタロンのモデリング

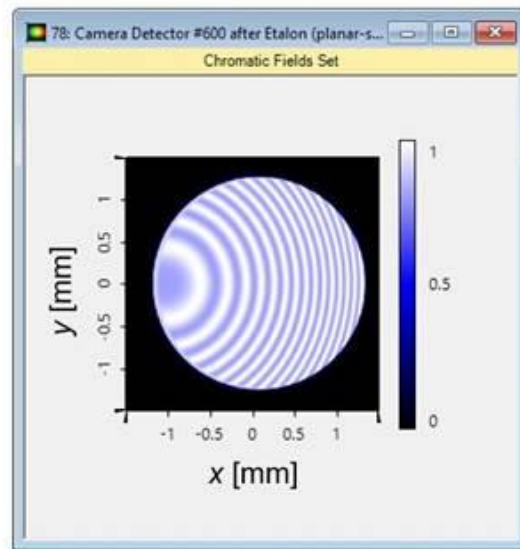
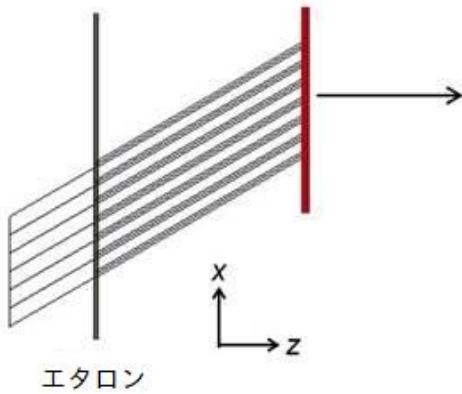
ノンシーケンシャル電磁場追跡技術を用いることで、平行でない面や曲面を有するなどのエタロンの設定を解析することができます。

[詳しくはこちら](#)

平面と球面

中心の厚み：100 $\mu\text{m}$

球面の曲率半径：1m



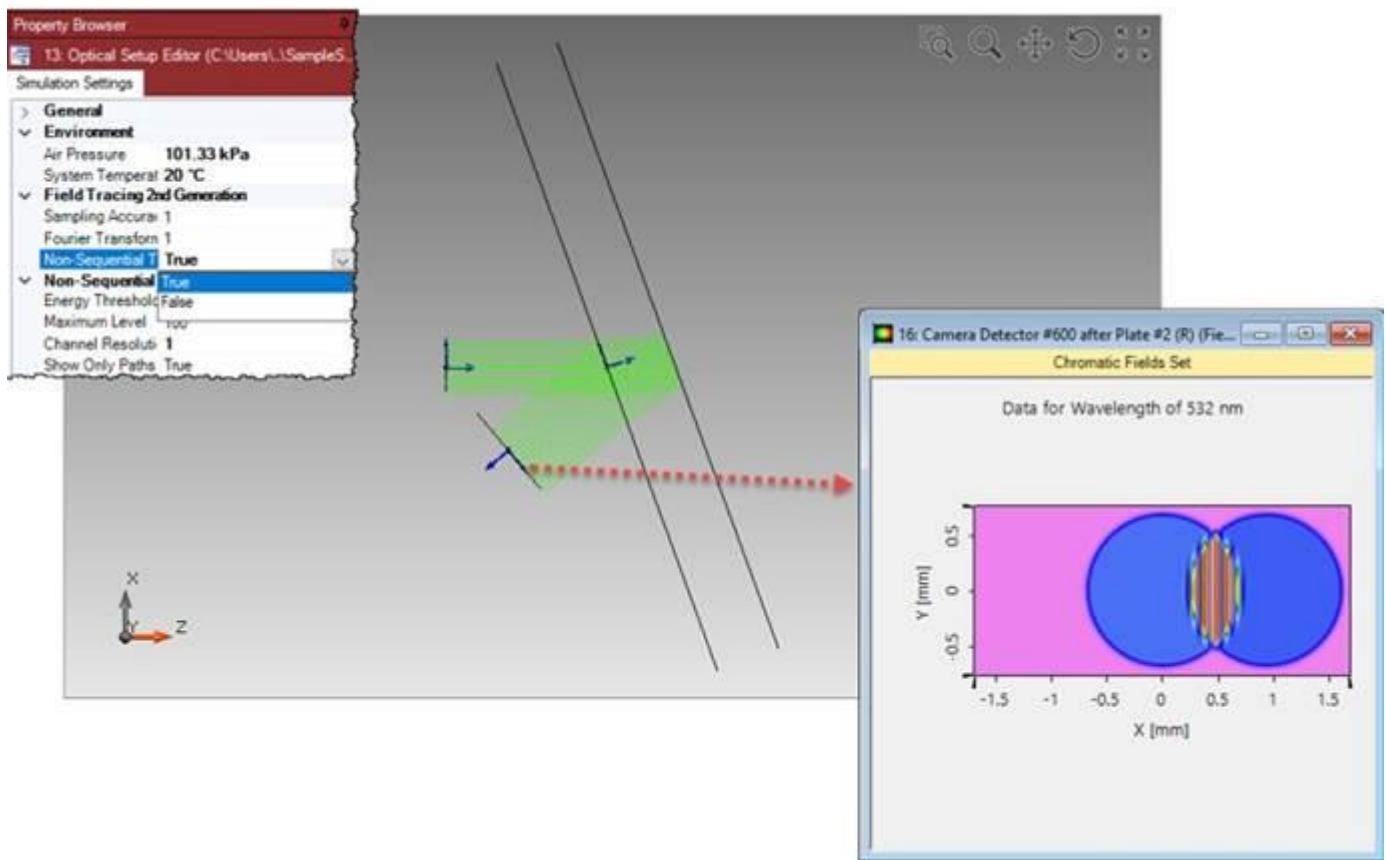
曲面を有するエタロンの  
ノンシーケンシャル解析  
は2秒しかかかりません。

平面と曲面を有するエタロンのモデリング

## シーケンシャル、ノンシーケンシャル電磁場追跡を用いた光学系の解析

ユーザーは VirtualLab で一度に光学系を構築して、異なる追跡技術を用いてその光学系を解析することができます。このユースケースではご自身の設定のノンシーケンシャル解析をどのように実行するかを示します。

[詳しくはこちら](#)



シーケンシャル、ノンシーケンシャル解析を用いた光学系の解析

☆無償トライアル版、トレーニングのお問い合わせは下記までお知らせください

**株式会社プロリンクス**

営業部 VirtualLab 担当

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町 17 番地 SIA 神田スクエア 3 階

Tel: 03-5256-2053 / Fax: 03-5256-2272

Email: [virtuallab@prolinx.co.jp](mailto:virtuallab@prolinx.co.jp)

URL: <https://www.prolinx.co.jp/virtuallab/>

